

進化経済学会

ニューズレター No. 37

Feb. 2015

進化経済学会事務局 evoeco-post@bunken.co.jp
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
TEL：03-5389-6493
FAX：03-3368-2822



++++
理事会報告
会計報告
その他
会員異動
++++

第VI期第5回理事会記録

理事(事務局)：吉田雅明(専修大学)

2014年9月20日理事会議事録 小樽商科大学札幌サテライト 11:00-12:30

1. 藤本会長から挨拶。新 EIER への移行などで、若い人たちを引き付けられるような学会にしていきたい。
2. 開催校から江頭理事より挨拶。早い段階で9月20日を決めてしまったが、結果的に SMAP コンサート、オータムフェスタのあおりで札幌のホテルの予約が取りにくい状況に。3月の小樽はもっと調べるようにしたい。CFP もう一度出す。
3. 吉田事務局長から会勢報告。本日の承認を入れて456名。加藤綾子・小池晴伴の両氏を新入会員として承認。
4. 谷口会計幹事より会計報告。5月11日の金沢大会報告を受けて2014年度予算案を作成。繰越419万、来年度も414万を繰越見込。書籍売却収入が増えているのは藤本会長のご協力による。(会計報告の記事参照)
5. 監査報告、澤邊監査より2013年度決算に問題がなかったことが報告された。
6. 有賀 EIER 編集委員長・副会長より、11-1号11-2号刊行状況の説明と新 EIER への移行にともなう変更と新体制、スケジュールが説明され承認された。八木紀一郎編集委員長のもと、有賀・藤本両理事が副編集長となる。
7. 理事会選挙について、佐々木啓明(委員長)・西洋・江口友朗の3会員を選挙管理委員にすることが承認された。11月に投票用紙送付、12月郵送投票となる。
8. 八木理事より参照基準問題に関する出版の進捗状況について報告。(『経済学と経済学教育の未来』刊行記事を参照)
9. サマースクールはこれまで開催校で対応してきたが、予算別建てにすることが承認された。
10. 学会賞を EIER 掲載論文、モノグラフシリーズから選考するかたちで創設すること、Fellow の制度も設けることが承認された。

会計報告

理事(会計)：谷口和久(近畿大学)

■決算報告(資料1参照)

1. 2013年度収支計算に関しては、会費は予算案419万5千円に対して、420万5千円の収入であった。
2. 大会収入に関してオータムコンファレンス14万5千円、本大会62万1664円、合計76万6664円であった。
3. 2013年度の大会開催校の金沢大学の努力によって支出額が低く抑えられた。経常収支は好転し繰越金は419万1056円となった。学会会計に関してはひとまずは危機的状況を脱出した。

■予算案(資料2参照)

2014年3月の大会にて報告した予算案を、3月31日付け決算に基づいて修正した。

■中間報告(資料3参照)

7月末現在の会費収入は2,352,000円でほぼ昨年度と同様である。

【資料2】

2014年5月11日

進化経済学会 2014年度予算(案)
(2014年4月1日 ~ 2015年3月31日)

(単位:円)

収入予算		支出予算		
	2013年度予算額			2013年度予算額
2013年度からの繰越	4,191,056	大会費		1,100,000
			(内訳)	
			オータムコンファレンス	400,000
			本大会	700,000
		英文誌編集刊行費		2,800,000
会費	3,825,000	通信費		100,000
		事務用品費		120,000
		謝金		20,000
		送金手数料		20,000
		賛助会員(同上実績)		50,000
注3 大会収入	750,000	事務委託費		690,000
		部会補助費		100,000
		オータムコンファレンス		150,000
		本大会		600,000
		予備費		100,000
		書籍売却代(2013年度実績より)		150,000
		WEB購読料(同上)		10,000
注4 フリーアクセス料(同上)	300,000	小計		5,085,000
総計	9,226,056	2015年度への繰越		4,141,056
		総計		9,226,056

注1
英文編集刊行費に含まれる項目
直接出版費
欧文校閲費
海外レジャー郵送
郵送料
リーフレット作成費
CyberSourceへの支払い

EIER印刷代 J-STAGE搭載費 別刷り代
欧文校閲費
EIER関係リーフレット等発送費
EIER発送手数料, 送料, 別刷り発送費, 編集事務, 送料, コピー代
EIER関係リーフレット作成費
2013年度:年間24万円+5万円(初期費用), 2014年度以降:年間24万円

注2
金額の大きい「事務委託費」と「英文誌編集刊行費」についてのみ、消費税増税による支出増として2013年度実績総額の約3%を増加した。

注3
大会収入は参加費等を含む。

注4
フリーアクセス料は2013年度に2件あった。

その他:交通費(理事会関連), 会議費(理事会関連), 印刷費(ニューズレター), 国際交流費(大会費から支出)は項目を削除した。

准化経済学会
平成26年度 収支計算書中間報告
(平成26年4月1日～平成26年7月31日)

貸借対照表
(平成26年7月31日現在)

収入	予算案	決算額	増減	支出	予算案	決算額	増減
会費	3,825,000	2,352,000	-1,473,000	大会費	1,100,000	0	-1,100,000
正会員該当年度		2,352,000		オースタム・コンgres	400,000	0	-400,000
正会員過年度分		100,000		本大会	700,000	0	-700,000
従員正会員該当年度		50,000		英文誌編集刊行費	2,800,000	88,632	-2,711,368
院生委員該当年度		105,000		通信費	100,000	50,388	-43,612
院生委員過年度分		20,000		交通費	0	0	0
准会員		2,000		事務用品費	120,000	0	-120,000
賛助会員該当年度		50,000		贈金	20,000	20,000	0
				送金手数料	20,000	2,750	-17,250
大会収入	750,000	0	-750,000	会議費	0	0	0
オースタム・コンgres	130,000	0	-130,000	印刷費	0	0	0
本大会	600,000	0	-600,000	事務委託費	690,000	368,428	-321,572
CD販売	0	0	0	国際交流費	0	0	0
和風	0	0	0	部会補助費	100,000	0	-100,000
寄付金	0	0	0	経済学会連合会費	35,000	0	-35,000
書籍委託代	150,000	254,620	104,620				
WEB印刷料	10,000	0	-10,000				
フリーアクセス料	300,000	0	-300,000				
				予備費	100,000	0	-100,000
当期収入合計	5,035,000	2,606,620	-2,428,380	当期支出合計	5,085,000	516,198	-5,668,802
前期繰越金	4,191,056	4,191,056	0	繰越金	4,141,056	6,281,478	2,140,422
総計	9,226,056	6,797,676	-2,428,380	総計	9,226,056	6,797,676	-3,528,380

(単位:円)

借方	貸方
I 流動資産	II 流動負債
現金	前受会費
預金	
普通預金	1,356,539
郵便振替	3,924,939
仮払金	III 正味財産
	次期繰越金
	前期繰越金
	当期差益
合計	6,281,478
	合計
	6,281,478

(単位:円)

財産目録
(平成26年7月31日現在)

科目	管理部門	金融機関	金額
流動資産			0
現金			0
預金	会計担当理事	三菱東京UFJ銀行	1,356,539
	学会事務局(国際文庫)	郵便振替口座	3,924,939
仮払金	大会準備金		1,000,000
資産合計			6,281,478

(単位:円)

(負債及び正味財産の部)

科目	適用	金額
流動負債		0
前受会費		0
負債合計		0
正味財産合計	前期繰越金	4,191,056
	当期収支差額	2,090,422
負債及び正味財産合計		6,281,478

経済学教育の参照基準問題を考える出版『経済学と経済学教育の未来』(桜井書店より 2015 年 3 月刊行予定)

8 月に日本学術会議が公表した「経済学教育の参照基準」については、その策定過程において、経済学にとって多様性が重要であることを認識しない姿勢に大きな危惧を抱き、進化経済学会としても、他の多くの学会とともに意見表明を行ってきました。3 月の金沢大会総会では、大坂洋会員(経済教育学会事務局長)の提案を受け、経済学教育の在り方を考え、非「標準的」経済学の豊かさを広く伝える出版企画に協力することが承認されましたが、その編集作業も進み、桜井書店より 2015 年 3 月刊行の運びとなりました。進化経済学会からも多くの稿が寄せられております。ぜひお手にとっていただけますようご案内申し上げます。

執筆者(*は編集者) 八木紀一郎(*代表)、浅田統一郎、足立真理子、有賀裕二(*)、岩佐和幸、岩田年浩、遠藤公嗣、大坂洋(*事務局)、大西広(*)、塩沢由典、橋本勝、森岡孝二、吉田雅明(*)

会員異動 (割愛)

編集後記

No. 37 の配信が諸般の事情により予定よりも遅くなりましたことをお詫び申し上げます。例年掲載していたオータムカンファレンスの報告については、次号に本大会とあわせて報告することとなりました。

表紙の写真は小樽運河です。学会開催時期の 3 月は日没から 24 時までライトアップが行われています。訪れる際は防寒対策をお忘れなく。小樽運河近辺にはおいしいお店もたくさんあります。学会参加の際には是非お立ち寄りください。

最後になりましたが、ニュースレターに関するご意見等ございましたらお寄せいただくと幸いです。今後もよろしく申し上げます。

ニュースレター編集担当：吉田 昌幸（上越教育大学）